

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：サンライズキッズ保育園 小田原園	種別：地域型保育事業（居宅訪問型保育事業除く）	
代表者氏名：額田 早都子	定員（利用人数）：19 名	
所在地：〒250-0851 小田原市曽比1755-1 フジレジデンス1階		
TEL：050-5807-2229	ホームページ： <a href="https://www.sunrisekids-hoikuen.com/odawara">https://www.sunrisekids-hoikuen.com/odawara</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2018年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 エクシオジャパン		
職員数	常勤職員：4 名	非常勤職員：11 名
専門職員	（専門職の名称）： 名	
	保育士：12 名	調理師：1 名
	小児科医師：1 名	歯科医師：1 名
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	0歳児保育室	沐浴室
	1歳児保育室	児童用トイレ
	2歳児保育室	事務・医務室
		調理室

## ③理念・基本方針

## &lt;理念&gt;

もっと輝け、明日のぼく・わたし！

周りに光とパワーを与える、ぽかぽか暖かい太陽のような子になろう。

## &lt;基本方針&gt;

1. ひとりひとりの個性を大切に保育する。

●どんなに小さな子どもでも立派な一人のかけがえのない存在です。小さな子どもにとって、1日はとても長く、1分1秒の間に様々なことを感じ取ります。

2. たっぷりの愛情で保育します。

●言葉にして訴えることが難しい時期だからこそ、一人ひとりの欲求を受け止め、小さな変化も見逃さず「ありのまま」を受け入れ、その時々合った対応、援助をします。

## &lt;保育目標&gt;

●自分に自信を持とう

●想像力を育もう

●お互いを理解しよう

●心身ともにたくましくなろう

- 自然を愛する心を持とう
- 目標に向かってがんばろう
- 礼儀正しい子になろう

④施設・事業所の特徴的な取組

<サンライズキッズ保育園 小田原園の特徴的な取り組み>

1. 充実したカリキュラム導入
  - 育脳プログラム（リトミック・英語・体操）、フラッシュカード・ドッツカードの利用
  - 読み聞かせプログラム（一日10冊以上の絵本）
  - 道徳カリキュラム（絵本の利用等）
  - 食育/植栽への取り組み（自園調理へのこだわり等）
2. 保育園ICTシステム導入による効率的かつ保護者との連携がとりやすい保育体制
3. 毎月実施の社内研修制度による保育士のレベルアップ

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年04月20日（契約日） ～ 2021年09月02日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

【サンライズキッズ保育園 小田原園の概要】

●サンライズキッズ保育園小田原園（以下、本園という）は、株式会社エクシオジャパン（以下、法人という）が運営する小規模保育園です。法人は、平成24年に保育事業に参入し、「子どもたちの無限の可能性を引き出し未来へ羽ばたく人材の育成」という目標を掲げ、地域の待機児童問題の解消のため、現在、神奈川県内の4園を含め全国で29園の小規模保育園の運営を行っています。法人は、かけがえのない大切なお子様を「常に安心して預けられる園」であることはもちろん、伸び伸びと自己表現が可能な環境で、感性豊かな心の形成を目指しています。「もっと輝け、明日のぼく、わたし！周りに光とパワーを与える、ぽかぽか暖かい太陽のような子になろう。」を保育理念として掲げ、心身共に健康な園児を育て、また職員も明るく保育ができる保育施設を運営しています。

●本園は、小田急小田原線「栢山駅」から徒歩2分と駅近くであり、利便性が良く、子ども・保護者が安心して通えます。園周辺は住宅街で、道路沿いに園舎（マンションの1階部分）が位置していますが、園舎内は静かであり、安心・安全な設備の下、愛着関係を密に築くことができる少人数制の特性を生かした作りになっています。園庭は有していませんが、健康促進の散歩と共に「栢山第一公園」へ遊びに行く等、伸び伸びと体を動かして遊べる環境があります。また、系列園全体で、0歳～2歳の時期が脳の成長の一番大切な時期であるという認識の下、育脳プログラムを採用し、体操・リトミック・英語カリキュラムを取り入れる等、充実した保育の提供を行っています。

◇特に評価の高い点

1. 【保育の質の向上のための本部との連携】

●保育の質の向上のため、様々な面で本部との連携が有効に機能しています。園から法人本部への報告事項で、毎週水曜日「設備・散歩コース等を点検簿での安全確認」・毎週木曜日「SIDS対応で午睡中の園児の様子を写真で送付」・毎週金曜日「ヒヤリハットや事故の事例報告」等を行い、法人本部のサポートで問題解決に取り組んでいます。子どもたちが快適に過ごすための園内美化にも注力しており、毎週金曜日に「園内数カ所

の写真送付」を行い、法人本部に美化報告を行っています。また、全園共通の保育園ICTシステム導入により、指導計画や各園からの情報提供及び報告・連絡・相談等が迅速に行われ、業務効率化に役立っている他、連絡帳や保育に関する記録が全てクラウド上で管理され、園長・職員・法人本部スタッフが確認できることで、保護者との連携が取りやすい保育体制が構築されています。問題が生じた場合は法人本部でチェックや指導が行われ、サポートが常にあり、問題解決にもスムーズに取り組み、双方の連携により保護者への対応も迅速に行われています。

## 2. 【充実したカリキュラム導入による保育への取り組み】

●0歳・1歳・2歳の時期は、身体の成長が著しく、脳は約80%がこの時期に形成され、人生の出発点となるこの大切な時期をどのように過ごすかは今後の成長に影響されてくると考えています。脳の成長の一番大切な時期ということを認識し、育脳プログラムを大きな軸に体操・リトミック・英語カリキュラムを取り入れています。また、絵本教育に注力し、読み聞かせプログラムとして、絵本の読み聞かせが子どもの成長にとって効果をもたらすことから、一日10冊以上の読み聞かせに取り組み、集中力の持続につなげています。そして、今年度から2歳児には絵本を利用した道徳カリキュラムにも取り組んでいます。絵本を通して人間関係の構築や自発性を促すようにしています。

### ◇改善を求められる点

#### 1. 【子どもと地域の交流を広げる取り組み】

●本園は、子どもが地域の人々と交流を持つことは大切なプロセスと考えています。「桜井自治会」に加入し、近隣の「ふれあい農園」に散歩に出かける等、子どもが地域活動に参加するように心掛けています。しかし、コロナ禍の中で、機会が減り、新型コロナウイルスの影響で提携園との交流も控えている状況であり、出来るだけ地域との交流機会が設けられるよう工夫に努めています。毎日、午前中に行う散歩時には、地域の方と挨拶を交わす等、保育士が率先垂範をしながら交流を図るよう努力していますが、まだ満足できるものとなっていません。今後、子どもの個別的状況に配慮しつつ地域との交流の機会を定期的に設ける等、取り組みに期待いたします。

#### 2. 【職員の定着と育成への取り組み】

●毎月の社内研修・調理スタッフ研修（2カ月に1回）・園長研修（2カ月に1回）等、職員一人ひとりの教育・研修の機会は確保されています。また、年4回の自己評価・毎月実施の職員面談・職員による360度査定等、職員の意向・意見の把握ができています。職員それぞれに合わせた条件で働く変形労働時間制が設けられ、サンライズの約束「持ち帰り仕事はしない」を基本的考え方として運営する等、職員のワーク・ライフ・バランスを考えて取り組んでいます。職員間で臨機応変に協力し合い、働きやすい職場作りに努めていますが、経験値の浅い職員も在籍しており、引き続き、職員個々の仕事上の悩みや不安を早い段階で解決していく取り組みが望まれます。また、経験値の浅い職員を対象に、課題や目標を決めて保育に取り組み、本部と共有し、スキルアップを図っていかれることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： 株式会社エクシオジャパン サンライズキッズ保育園 小田原園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

今回は、入社したばかりでの同席となりましたが、サンライズキッズ保育園の経営・取り組み・保育の姿勢等、理解していたことが、評価を受けることにより一つひとつの深い意味・意義を再度、実感することができました。さらに、その中での保育園全体、私自身の課題も外部の目を通すことにより、明確に感じることができました。

問題点への改善へ取り組む策を与えていただいたように感じ、実践への意欲も増しました。

《株式会社エクシオジャパン 保育事業部の感想》

先日は数日間に渡り、第三者評価の実施をありがとうございました。今年度から勤務する施設長が多い中、改めて本部と施設長の方向性、認識を見直し、統一する良い機会になったと感じております。

結果を拝見させていただきました。その中でもやはり本部と現場の連携の重要性を感じました。現場の温度感を本部でも忘れることなく、より密な「報・連・相」を心がけて園づくりをしてまいります。

<評価後取り組んだ事として>

1. 保育士間の意見交換の時間を増す ⇒新しい職員が多いので、お互いの保育観、子ども一人ひとりの様子を話し合うことで、園全体の理解とし、共有することでより良い保育へとつなげていく。

2. 第三者評価結果報告書を全員で共有した ⇒園の抱える問題点を全員が把握し、改善点を話し合った。

3. 保護者様からのアンケート結果に再度注目し、登降園時の保護者対応のあり方を、申し送り表の活用の仕方を徹底することで、まず一歩、改善していこうと話し合いました。

《株式会社エクシオジャパン 保育事業部での取り組み》

1. 園長の認識ズレがあった箇所のすり合わせ
2. 本部内での総評の共有
3. キャリアアップ研修を積極的に受けられるような案内周知

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり